

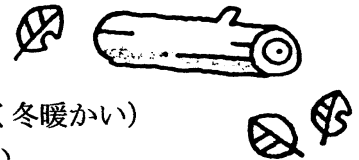


## ④ ⑤ …いま、なぜ、木造住宅か!!…

環境問題がうるさくなるにつれて、木造住宅が脚光を浴びてきました。生産から廃棄までのライフサイクルでコストを考えようという動きが出てきて、従来の「作る時安ければ、あとはどうでも良い」という考えが徐々に見直されてきたからです。ドイツのベルリン市では、以前から火災時や焼却処理時の環境汚染を防止する費用を計算し、公共建築での塩ビ製品の使用を禁止しています。また、前号でお知らせしましたように解体リサイクル法が可決されると、古い家を壊すときも分別して廃棄しなくてはなくなり、適正な廃棄を行ったかの証明を出さなければなりません。益々余分な経費がかかるようになります。(現在、建て替えを検討されておられる施主様にはこの事を説明し、早めの改築をおすすめしてみても！)

では、なぜ今、木造住宅なのでしょう。

- ①木材は、再生産可能な材料であり、若い木は二酸化炭素を吸収して大きくなります。
- ②製造(加工)する時に消費するエネルギーがアルミニウムの790分の1、鉄の190分の1、コンクリートの3分の1、紙の13分の1と極めて環境負荷が小さいのです。
- ③木材として使われている間は、その中に炭素を固定しており二酸化炭素の発生を防いでいます。
- ④約40坪の住宅を構成する主要材料を製造するときの炭素放出量を工法別に比較すると、木造を1としたときS造(鉄骨)3.45倍、RC造(鉄筋コンクリート)4.24倍となっている。
- ⑤木材にはフィトンチッドという物質があり、ダニの繁殖を抑制する効果がある。
- ⑥木材は湿度の調整機能や情緒を安定させる機能がある。但し、塗装などで表面を保護するとこの特質は減少します。
- ⑦木材は音を程良く吸収します。(桧舞台)
- ⑧木は紫外線を吸収するので、目が疲れず暖かい雰囲気になる。
- ⑨木は断熱性に優れて、保温性も良い。(塗装のない床は、夏涼しく冬暖かい)
- ⑩木は衝撃吸収力に優れ、転倒時の怪我の危険性も他材料より少ない。
- ⑪遠洋航海をするような船の船室の壁と床には必ず板が使われています。また最近、木造の校舎や木の板張りにしたRC校舎が増えています。これらは、その中で生活する人たちの精神を安定させるのには木が一番良いということが経験的に分かっているからです。



など、自然素材である木材の良さが改めて認められ、住環境には木材が必要ということが主張されるようになってきたからです。難しい経済状況の今、地道に木材の良さをPRして仕事を増やしましょう。

[商品情報] 先日、木造住宅見学会を行いました。自然塗料によるフローリング(得々ミニ情報第28号)を玄関から居間・キッチン・洗面脱衣所に使いました。「傷が付きやすいですよ」との説明にも「でもこれが気持ちよい」と好評を頂きました。施主様にお勧めしてみても、いかがですか。

《定休日》9月は、5、11、12、15、18、19、23、26日になります。  
10月は、2、3、10、11、17、23、24、30日になります。  
ご協力宜しくお願いします。



(お問い合わせは、お客様サービス係の森園まで)